



秋田で「新しい大学」作りを進める

中嶋嶺雄さん (66)



定員割れと赤字に苦しみ、今春閉校した米国ミネソタ州立大学秋田校。その遺産を引き継ぎ、秋田県が来春、新たに「国際教養大学」として開学させる。

「1学年1000人の少数精鋭」「全員が寮生活をし、留学する」「授業はすべて英語」「教員は世界から公募、大半を外国人に」「県から独立した法人に」

文部科学省に先月末、認可申請した計画には、国立大では例のない試みが並ぶ。構想をまとめる委員長を務め、初代学長も引き受

けた。火中の栗を拾いに行くと、今春閉校した米国ミネソタとは大学の中身が違ふ。理想に胸を張った。英語力にこだわらる。「口先だけの会話より中身のあ

る議論を」と考える。実際的知識を英語で身につけさせたいと願う。

だが、少子化で私立大の3割が定員割れする「大学の冬時代」だ。県議会内には、「学生が集まるのか」などと慎重論が根強い。自身は長野県出身で、秋田とは縁もゆかりもなかった。01年まで東京外国語大学

文・写真 杉山 正

「国際舞台で通用する人材を地方で育てる、現代の松下村塾にしたい」